

タイトル『世界から猫が消えたなら』

著者：川村元氣

出版社：小学館文庫

郵便配達員として働く三十歳の「僕」。
ちょっと映画オタクの僕は猫とふたり暮らし
である。そんな僕がある日突然、脳腫瘍で
余命わずかであることを宣告される。絶望的
な気分が家に帰ると自分とまったく同じ姿を
した男「悪魔」が待っていた。その男から
持ちかけられたのは「この世界から何かを消
す。その代わりにあなたは一日だけ命を得
る。」という奇妙な取引だった。僕は生き
るために取引に応じることを決めた。電
話、映画、時計…僕の命と引き換えに、
世界から次々とモノが消えていく。ついに
僕は悪魔から、猫を消すことを迫られて…
僕は本当に大事なものに気づけるのか??

投稿日 2017年11月26日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

キヤベツ

年齢

14

仙台市 広瀬

YAコーナー